

# 新しい学校の基本方針について

## 1 第1回新しい学校づくり美馬市・つるぎ町地域協議会における論点整理

- (1) 日 時 平成18年9月4日(月)
- (2) 場 所 貞光工業高校 3階 図書室
- (3) 議 題 新しい学校の教育について
- (4) 配付資料
  - 資料1 高校再編方針
  - 資料2 美馬商業・貞光工業・旧美馬商工関連資料

### 新高校の基本的なあり方について

県内に就職できるような教育，地域で就職する人を育てるような教育。  
生徒が学校を選ぶとき，強い部活動があることが重要となっている。現在の部活動の特色が保たれるようにすべきである。  
新しい時代にあった学科，子ども達が行きたくなる学科を設置してほしい。  
中学生が魅力を感じ，あこがれて入学することが重要である。  
時代の流れ，多様な進路に対応した教育。  
コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の育成を重視した教育。

### 新高校の専門教育のあり方について

実業高校は，大企業で求められる人材だけでなく地域で働く人材の育成を目指してほしい。  
ただ，統合するだけでなく，看護・福祉といった新たな教育が実業高校にあってもいいのではないか。  
魅力ある実業高校というのは，地元で就職できる人材を育成することである。  
従来の商業，工業のあり方を引き継ぎながら再編すべきである。  
産業経営科を新設するなら，自分で企業を起こせるような教育を進めてほしい。  
キャリア教育を推進し，職業観・勤労観を養っていく教育。  
美馬商業と貞光工業が築いてきた伝統があるので，2校の教育が相乗効果的に発揮されるようにすべきである。  
県西部には，商業科も工業科も必要である。それらを残しながら魅力ある学校をつくってほしい。

### 再編について

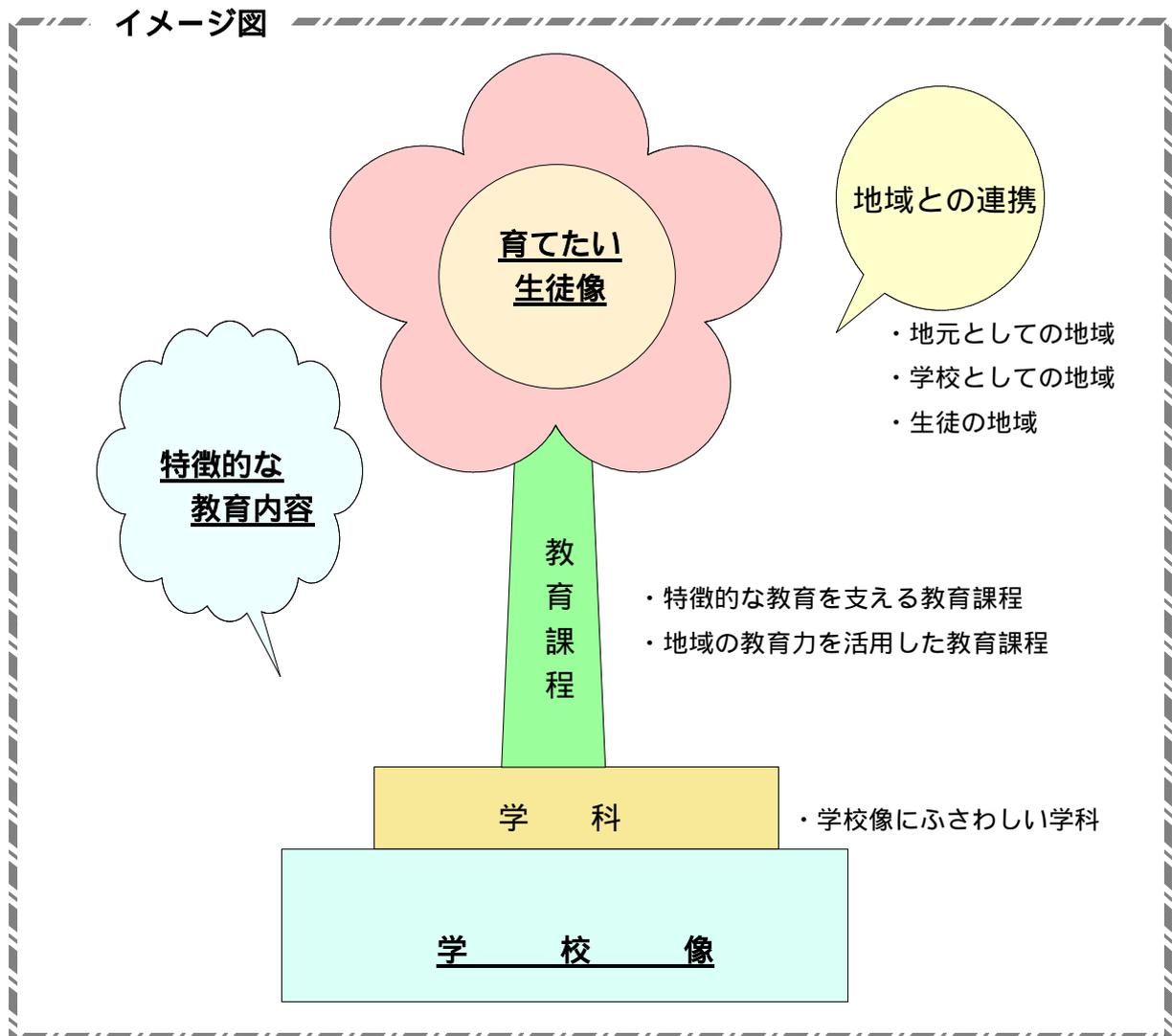
再編方針にも書かれているが，県西部への看護科の設置について，普通科高校も含めて協議する必要がある。  
保護者の立場からすると，統合する時期が気になる。協議会が立ち上がったからどのくらいの期間で再編されていくのか。  
統合したとき，運動施設が今まで通り使用できるのか。これまで通りの施設で大

丈夫なのか考えてほしい。

少子化の進行に対して，再編のスピードが合っているのか疑問である。他県ではすでに再編した高校が開校している。スピードが遅いのではないか。

思い切って2校にして，特色ある学校づくりを進めるべきである。

## 2 学校像，生徒像，教育内容について



### 3 新しい学校の学科について

#### (1) 再編のスケジュール(案)

	H18年度 ~ H19年度	H20年度 ~ H22年度	H23年度 ~ H30年度
計画	新しい学校づくり 地域協議会	学校間連携	再編整備

#### (2) 新高校の学校規模の推計

学校名	H18年度	H23年度	H25年度	H27年度	H30年度
<b>新高校</b>	<b>(220)</b>	<b>195</b>	<b>175</b>	<b>170</b>	<b>170</b>
美馬商業高校	70	60	55	50	50
貞光工業高校	150	135	120	120	120
脇町高校	225	195	175	170	170
穴吹高校	130	120	110	110	105
地域定員	575	510	460	450	445

注) 平成17年度定員を基準とした地域の生徒数の増減に伴う学校規模の目安を基準としたものである。

#### (3) 学科設置の目安

